

平成 25 年 2 月 25 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「T&D中国中小型株ファンド(愛称:ゴールドドラゴン)」

2013年2月25日決算の分配金について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「T&D中国中小型株ファンド(愛称:ゴールドドラゴン)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、2013年2月25日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

敬具

■ **第4期分配金** (1万口当たり、税引前)

ファンド名	分配金
T&D中国中小型株ファンド	200円

■ **分配金の実施について**

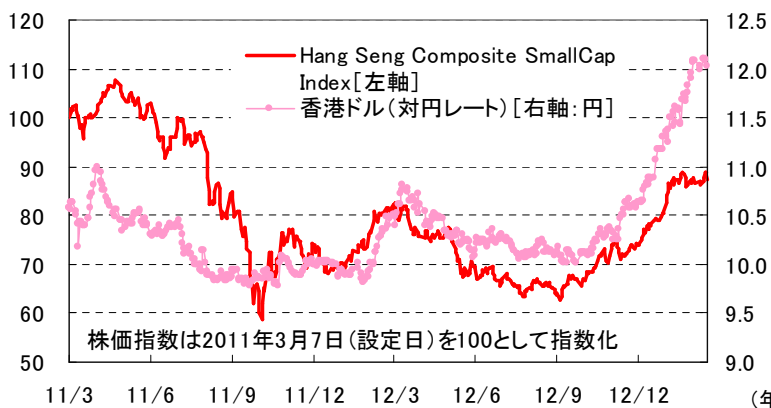
2012年9月以降、当ファンドが実質的な主要投資対象とする中国中小型株は堅調に推移し、また香港ドルについても対円で上昇を続けています。これらのことから、現在の基準価額水準や市況動向等を勘案し、2013年2月25日の分配金を200円(1万口当たり、税引前)とさせていただきます。

※ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

※ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※ 詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

○ **中国小型株指数および香港ドル(対円レート)の推移**



■ 当期の運用経過 (2012年8月27日～2013年2月25日)

【市場概況】

香港株式市場は、中国景気の減速懸念から下落して始まりましたが、ECB(欧州中央銀行)の新たな国債買入れプログラムや米国のQE3(量的緩和第3弾)の発表などを受け、上昇基調となりました。その後も中国の9月の経済指標が景気持ち直しを示唆し、景気回復期待が高まったことや、海外の潤沢な流動性が市場を押し上げたことなどから、年末にかけ上昇しました。2013年1月から期末にかけても、米国の財政の崖(2013年からの減税失効と歳出の自動削減装置)問題が年明けに回避されたことや中国の2012年10-12月期実質GDP成長率が7-9月期から回復したことなどを背景に上昇基調の展開となりました。

そのような環境のなか、期を通じてみると中小型株は大型株を大きく上回る動きとなりました。

当期主要株価指数は、香港ハンセン指数が15.1%上昇、ハンセン中国企業株指数(H株指数)が18.6%上昇、Hang Seng Composite SmallCap Indexが32.3%上昇しました。

香港ドルは対円で上昇しました。期初10.16円で始まった香港ドル/円は期末にかけて12.13円まで上昇する展開となりました。

【運用概況】

当期の基準価額騰落率は、主にマザーファンドの保有株式の値上がりにより、+64.8%となりました。株式の実質組入比率は概ね73%～93%程度で推移させました。

銘柄選択にあたっては、主に中国の内需拡大、可処分所得増大により恩恵を受け、中長期的に高い成長が見込める中小型株を選定し、ポートフォリオを構築しました。1月末時点での株式の組入銘柄数は39銘柄、組入比率は76.2%としました。組入比率上位の業種は、耐久消費財・アパレル(19.5%)、テクノロジー・ハードウェアおよび機器(12.0%)、資本財(9.9%)、不動産(7.7%)、小売(5.0%)となりました。銘柄別では、主に建物一体型太陽光発電システム等の製造、取付けを行うCHINA SINGYES SOLAR TECHNOLOGIES、家電メーカーのHISENSE KELON ELECTRICAL、中国全土で自動車販売店を経営するCHINA ZHENG TONG AUTO SERVICE等がポートフォリオの収益にプラス寄与し、参照指数である、Hang Seng Composite SmallCap Index(円換算)を上回りました。

【今後の運用方針】

直近発表の中国の経済指標は総じて好調であり、中国景気の持ち直しが鮮明化しつつあること、株価バリュエーションは依然割安水準にあることから、中長期的に株式市場に対してポジティブな見通しを持っています。株式市場は、目先利益確定売りが出る局面も予想されますが、個別企業ごとの業績見通しを反映し、銘柄間の格差が広がる展開となるとみています。

投資方針としては、セクターでは、中国の内需の拡大、可処分所得増大の恩恵を受ける消費関連に着目しています。また、テクノロジー関連や太陽光発電にかかわる下流ビジネス等にも着目しています。銘柄選択においては、個別企業ごとの業績動向を注視しつつ、利益成長の確度が高い銘柄を重視し、選別強化を図る方針です。

出所: 国泰君安アセット(アジア)より入手したコメントをもとに作成しています。

■ 基準価額の推移 (設定日(2011年3月7日)~2013年2月25日)

※ 基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第1期	2011/8/25	0円
第2期	2012/2/27	0円
第3期	2012/8/27	0円
第4期	2013/2/25	200円
第5期	—	—
設定来		200円

※1万口当たり、税引前

2013/2/25

基準価額	10,125円
純資産総額	12.7億円

■ 分配方針

年2回、毎決算時に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ② 分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- ③ 収益分配に充てず、信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ 販売会社の名称等

販売会社	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品 取引業者 東海財務局長(金商) 第140号	○		○	○
宇都宮証券株式会社	金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第32号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第1977号	○			
西日本シティTT証券株式会社	金融商品 取引業者 福岡財務支局長(金商) 第75号	○			
ワイエム証券株式会社	金融商品 取引業者 中国財務局長(金商) 第8号	○			

※加入協会に○印を記載しています。

以上

本資料は投資者にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて

「株価変動リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」

※ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.15%(税抜 3.0%) 以内で販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、ファンドの純資産総額に年 1.9215%(税抜 1.83%) の率を乗じて得た額とします。
その他の 費用・手数料	<p>【監査費用】</p> <p>毎日、ファンドの純資産総額に年 0.00735%(税抜 0.007%)の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。</p> <p>【その他】</p> <p>証券取引に伴う手数料、組入資産の保管等に要する費用等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。